

令和２年度福岡県立学校「新たな学びプロジェクト」概要

1 目的

本事業は、福岡県の子どもたちが、伝統と文化に立脚し、高い志や意欲を持つ自立した人間となるよう、他者と協働しながら主体的に価値の創造に挑み、未来を切り拓いていく力を身に付けることができる学校教育を創造する。

2 目標

- (1) これまでの授業実践の蓄積を踏まえ、「主体的・対話的で深い学び」を実現するためにアクティブ・ラーニングの視点に立ったICTを活用した授業改善を推進する。
- (2) アクティブ・ラーニングを実施する環境を整備し、新しい授業法を開発する。その際、学校の特性や状況、日常的な取組及び特別な取組の両面を考慮する。
- (3) アクティブ・ラーニングによって生徒が身に付けた資質・能力の適切な評価方法について研究し、その効果を検証する。
- (4) 本事業による各校の研究成果を交流し、各校の更なる授業改善や特色化に資するとともに、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の全県立学校への普及徹底を図る。

3 実施期間

1年間

4 事業内容

- (1) アクティブ・ラーニングの視点に立ったICTを活用した授業改善及び評価方法の研究
研究開発の委嘱を受けた学校（以下「研究開発校」という。）においてアクティブ・ラーニングの視点に立ったICTを活用した授業改善及び評価方法について研究・開発を行う。研究開発に当たっては、連携大学の教員等及び福岡県教育センター指導主事等をアドバイザーとし、指導・助言を得ながら実施する。
- (2) アクティブ・ラーニングの視点に立ったICTを活用した授業改善及び評価方法の普及
本県の全県立学校でアクティブ・ラーニングの視点に立ったICTを活用した授業改善及び評価方法を取り入れるため、以下のような取組により本事業で得られた成果の普及を図る。
 - ア 各研究開発校における公開研究授業等を実施
 - イ 各研究開発校の取組を全県立学校に公開する地区版実践発表会の実施
 - ウ 地区版実践発表会において、各県立学校の実践報告を共有するポスター発表の実施
 - エ 福岡県教育センターにおいて、各研究開発校の研究成果をまとめた成果物を発行し、県立学校へ配布するとともに、ウェブ等で幅広く公表

5 研究実践校と研究テーマ

- 門司学園高等学校 「ICT機器を利用したAL型授業による授業改善と観点別評価の一体化に向けた研究」
- 中間高等学校 「振り返りを通して自立した学習者を育てる」
— ICTを活用した授業改善—
- 須恵高等学校 「どこでも学校ドアプロジェクト」 — ICT端末による対話的学びへの主体的参加を目指して—
- 太宰府高等学校 「基礎学力の定着を促す授業の工夫」
— ICTを活用した能動的な学習を通して—
- 朝倉高等学校 「ICTを活用した授業の浸透と対話・討論による深い学びの創造」

6 研究協力校と研究テーマ

- 小倉東高等学校 「主体的にものごとに関わる生徒を育てる授業改善の研究」
— ルーブリックとパフォーマンス課題の活用を通して—
- 北筑高等学校 「観点別評価の充実による授業改善」
— ICT活用による学習環境の整備を通して—
- 直方高等学校 「表現力を高める指導方法の改善」
— 読解力を育成する授業展開の工夫—
- 光陵高等学校 「主体的に学習に取り組む態度および、思考力、判断力を育成するためのICT活用」
- 糸島高等学校 「主体的・対話的で深い学び」
— ICT機器を活用した授業の改善—
- 輝翔館中等教育学校 「ICT機器と協同学習の手法を用いた主体的・対話的で深い学びの実践と評価方法の研究」

7 アドバイザー

福岡教育大学 小泉令三教授、納富恵子教授、生田淳一教授、松尾剛准教授
九州工業大学 近藤秀樹助教
福岡県教育センター「新たな学び」チーム指導主事

8 令和2年度の主な取組内容

(1) 各研究実践校における研究、研究授業・地区版実践発表会の実施

【地区版実践発表会の日程と会場】

令和2年12月4日(金) 中間高等学校
12月10日(木) 門司学園高等学校
12月11日(金) 須恵高等学校
12月16日(水) 朝倉高等学校
12月18日(金) 太宰府高等学校

※ 本年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全発表会をウェブ会議システム（Zoom）によるオンライン形式で実施した。

(2) 各研究協力校による研究内容の発表

福岡県教育センターにおける、研究協力校オンライン発表会の実施
令和2年12月23日(水)

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全発表会をウェブ会議システム
(Zoom) によるオンライン形式で実施した。

(3) 高校教育課または福岡県教育センターが行う各種研修会での成果の普及

(4) 県内各学校でのアクティブ・ラーニングに係る校内研修会への指導主事派遣
(令和元年度は16校、平成30年度は29校の県立学校における校内研修等の研
修講師として派遣：下表参照)

(5) 広報紙「ふくおかAL通信～県立学校の教室から～」第34～40号の発行

(6) 福岡県教育センターホームページにおける「スタッフログ」の更新

(7) 令和2年度報告書(本書)の発行

【参考：令和2年度 県内各県立学校における校内研修会への新たな学びチーム指導
主事派遣一覧】※研究実践校、研究協力校への派遣を除く

日時	学校名	研修内容
7月9日	八女高等学校	各教科等における探究的な学習について
9月14日	小倉南高等学校	観点別評価とICT活用について
9月28日	戸畑高等学校	観点別評価について
10月6日	三潨高等学校	「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った 授業改善について(ICT活用、学習評価含む)
11月12日	八幡南高等学校	ICT活用について
11月18日	稲築志耕館高等学校	新学習指導要領の基本的な考え方、ICT活用 について
11月26日	久留米高等学校	観点別評価について
12月10日	福岡視覚特別支援学校	観点別評価について

